

ホリスティック生命論ワーク（金曜日 5回 18:30～21:00）

和学研究会

担当者	まどか庸代（南山大学人文学部助教授） ホリスティック医療医学に取り組むゲスト講師
概要	<p>人が人らしく生死を過ごすために、医療・医学や人の生命にまつわる科学技術・教育・社会・家庭そして私という場では、どのような人間観や医療観が助けになるのでしょうか。この研修では、いのちと「関わり医療」をテーマにワーク（実習）を中心とする体験学習法と発想法によって進めていきたいと思ひます。日本人の身に似合う学問づくりを夢見て。</p> <p>ホリスティックholisticとは、一つのものゝ観方生き方で、「全人的」に「全包括的」に「こゝろもからだもたましいも」まるごと生きた一つの全体系として、いのちや人や社会のかかわりを捉えていこうとする文明論のことばです。ギリシャ語源holos（全体）は、whole（全）／heal（癒）／holy（聖）／health（健全）=heal+th（癒えた）+（状態）という意味をももたらしています。</p> <ul style="list-style-type: none">・「いのちのイメージと生命観」（自己化風土化awarenessワーク）・「バイオエシックス生命倫理と社会的コンセンサス」（パラダイムワーク）・「医者患者家族関係コミュニケーションといわれる振舞い」（五感ワーク）・「日本・日本人・日本語とわたしのいのちの素直な本音」（いろはワーク）・「死のイメージ 生産看死と生老病死」（aura=somaワーク）・「ライフサイエンスとライフファンタジー」（七観ワーク） <p>※後援「日本ホリスティック医学協会」</p>
日程	10/6, 10/13, 10/25（水 ゲスト帯津良一医師）、11/17, 12/1
定員	20名
参加資格	生命医療、医教育に関心のある方すべて。（再度希望の方はお申出ください）
会場	南山大学 D棟
研修費	25,200円（消費税ならびに申込金2,000円を含む）